

【設問1】リスクコミュニケーションの実施状況に関するアンケート調査結果
(令和7年12月実施)

1. 回答の状況

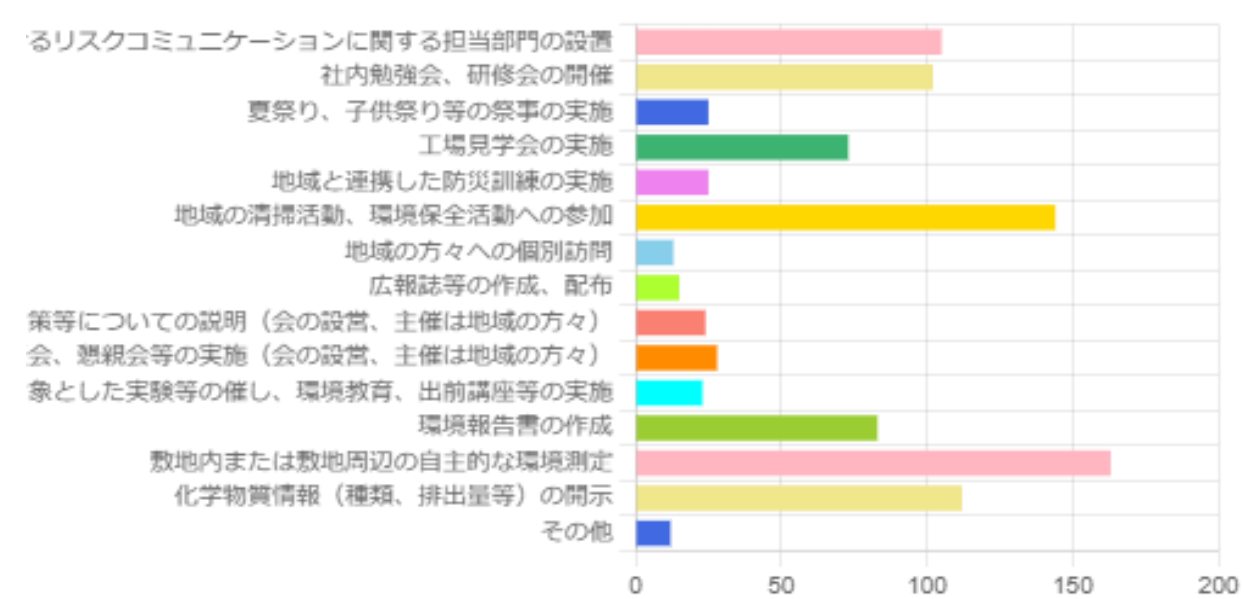
振興局	配布数	回答数	回収率(%)
県北	119	60	50.4
県中	133	74	55.6
県南	75	43	57.3
会津	50	25	50.0
南会津	10	4	40.0
相双	55	35	63.6
いわき	68	51	75.0
計	510	292	57.3

2. 回答の内容

Q1. 貴事業所でのリスクコミュニケーションの推進等に関して、実施しているものをお答えください。(複数回答可)

回答事業者数	244
--------	-----

	実施済み	割合(%)
1 社内におけるリスクコミュニケーションに関する担当部門の設置	105	43.0%
2 社内勉強会、研修会の開催	102	41.8%
3 夏祭り、子供祭り等の祭事の実施	25	10.2%
4 工場見学会の実施	73	29.9%
5 地域と連携した防災訓練の実施	25	10.2%
6 地域の清掃活動、環境保全活動への参加	144	59.0%
7 地域の方々への個別訪問	13	5.3%
8 広報誌等の作成、配布	15	6.1%
9 自治会の集会に出席し、事業所の操業状況、環境対策等について説明(会の設営、主催は地域の方々)	24	9.8%
10 地域の方々との懇談会、懇親会等(会の設営、主催は地域の方々)	28	11.5%
11 小・中学生等を対象とした実験等の催し、環境教育、出前講座等	23	9.4%
12 環境報告書の作成(本社での作成、親会社での作成、自事業所での作成のいずれでも可)	83	34.0%
13 敷地内または敷地周辺の自主的な環境測定	163	66.8%
14 化学物質情報(種類、排出量等)の開示	112	45.9%
15 その他	12	4.9%



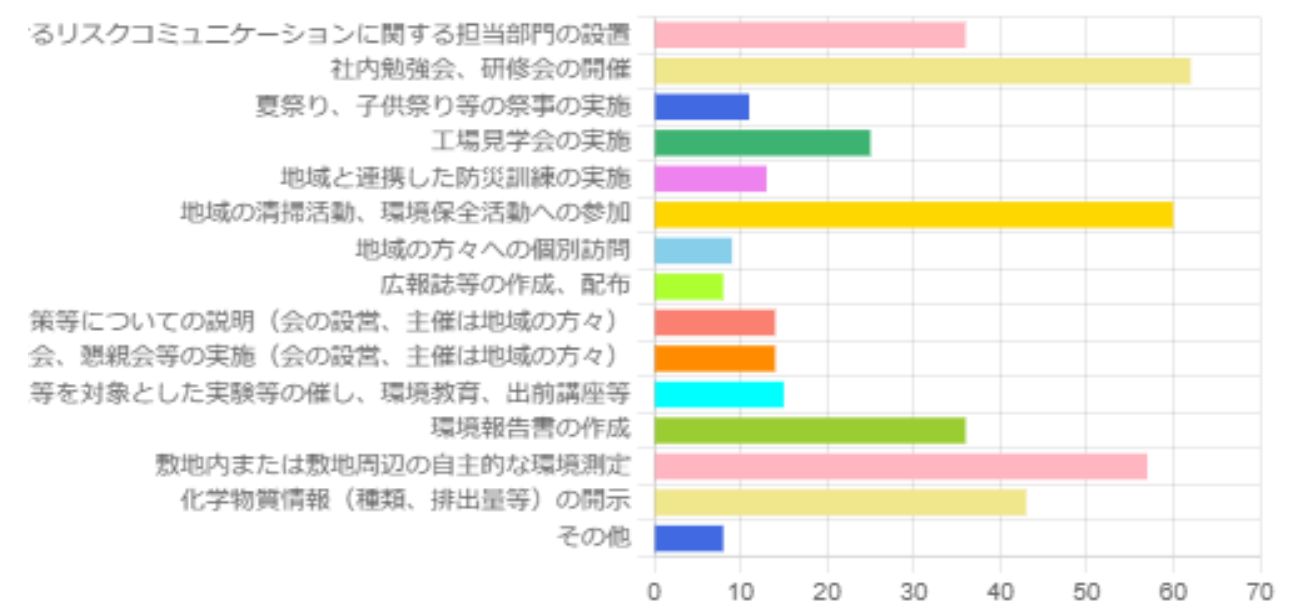
○その他回答

- ・ エコアクション21認証取得
- ・ 化学物質の理解、リスクを、さまざまな教材等を用いながら社内教育を図っている。
- ・ 安全衛生委員会活動およびその議事内容の社内周知。
- ・ 敷地周辺の清掃活動(ただし有志によるボランティア)
- ・ 福島県化学物質適正管理指針に基づく報告
- ・ 紛争鉱物由来物質の不使用、ISO-14001認証取得
- ・ 遊休地の緑化整備
- ・ ISO14001に伴う「緊急事態対応訓練」の実施

Q2. 貴事業所でのリスクコミュニケーションの推進等に関して、実施を予定しているものをお答えください。（複数回答可）

回答事業者数 154

	予定している	割合 (%)
1 社内におけるリスクコミュニケーションに関する担当部門の設置	38	24.7%
2 社内勉強会、研修会の開催	62	40.3%
3 夏祭り、子供祭り等の祭事の実施	11	7.1%
4 工場見学会の実施	25	16.2%
5 地域と連携した防災訓練の実施	13	8.4%
6 地域の清掃活動、環境保全活動への参加	60	39.0%
7 地域の方々への個別訪問	9	5.8%
8 広報誌等の作成、配布	8	5.2%
9 自治会の集会に出席し、事業所の操業状況、環境対策等について説明（会の設営、主催は地域の方々）	14	9.1%
10 地域の方々との懇談会、懇親会等（会の設営、主催は地域の方々）	14	9.1%
11 小・中学生等を対象とした実験等の催し、環境教育、出前講座等	15	9.7%
12 環境報告書の作成（本社での作成、親会社での作成、自事業所での作成のいずれでも可）	38	24.7%
13 敷地内または敷地周辺の自主的な環境測定	57	37.0%
14 化学物質情報（種類、排出量等）の開示	43	27.9%
15 その他	8	5.2%



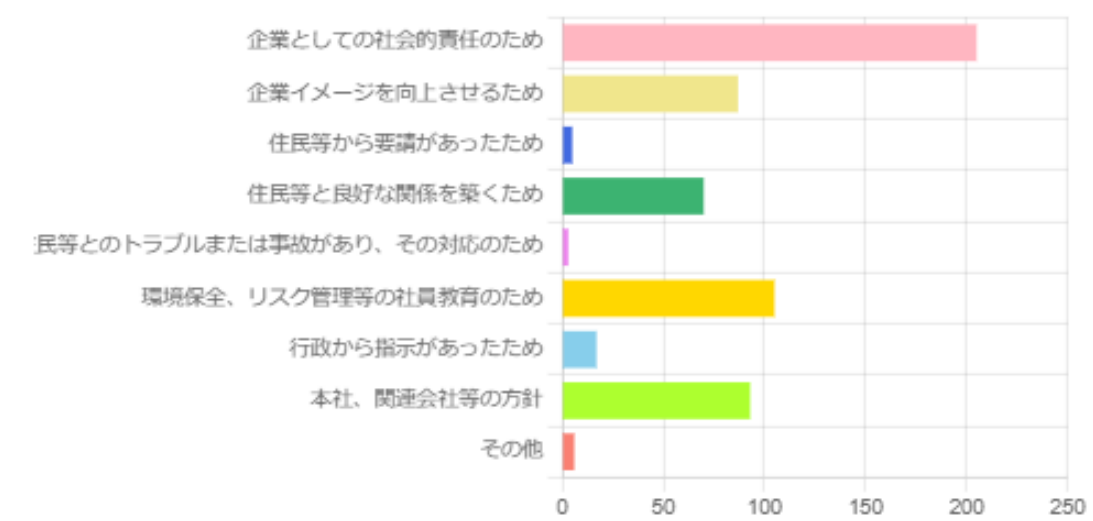
Qその他回答

- ・ EA21環境経営レポートの作成
- ・ エコアクション21認証取得
- ・ 外部講習等も活用しながら、多角的な情報に触れる機会を増やしたい。

Q3. リスクコミュニケーション等への取組みを実施する理由は何ですか。

回答事業者数 237

	選択事業者数	割合 (%)
1 企業としての社会的責任のため	205	86.5%
2 企業イメージを向上させるため	87	36.7%
3 住民等から要請があったため	5	2.1%
4 住民等と良好な関係を築くため	70	29.5%
5 過去に住民等とのトラブルまたは事故があり、その対応のため	3	1.3%
6 環境保全、リスク管理等の社員教育のため	105	44.3%
7 行政から指示があったため	17	7.2%
8 本社、関連会社等の方針	93	39.2%
9 その他	6	2.5%



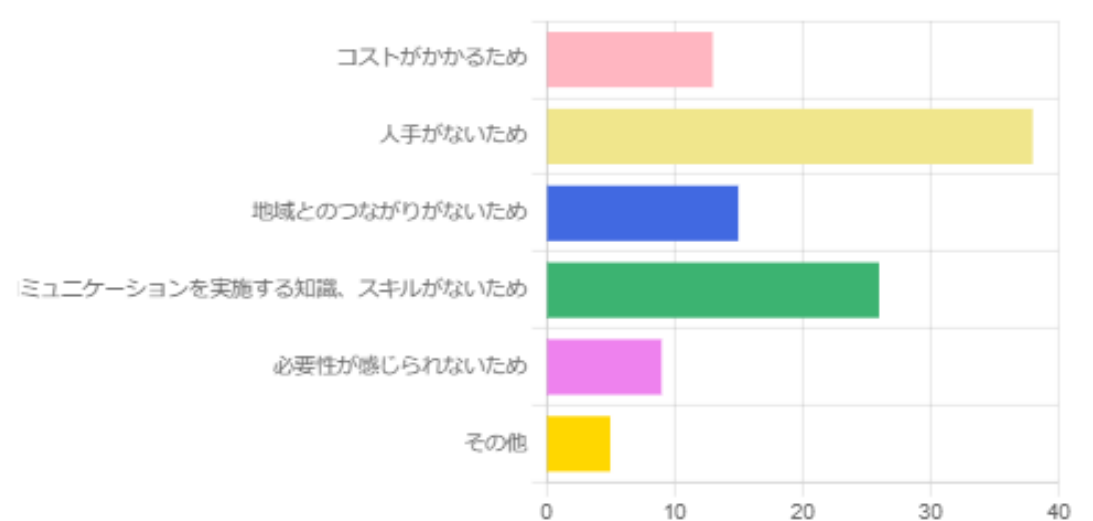
Qその他回答

- ・ 使用量の把握と削減を目的とした社内PR。
- ・ 法令順守のため。
- ・ 郡山市中央工業団地、団地会での活動の一環として参加。
- ・ ISO14001及びISO45001認証工場による活動。
- ・ 使用量の把握と削減を目的とした社内PR。

Q4. リスクコミュニケーション等への取組みを実施しない理由は何ですか。（複数回答可）

回答事業者数 58

	選択事業者数	割合 (%)
1 コストがかかるため	13	22.4%
2 人手がないため	38	65.5%
3 地域とのつながりがないため	15	25.9%
4 リスクコミュニケーションを実施する知識、スキルがないため	26	44.8%
5 必要性が感じられないため	9	15.5%
6 その他	5	8.6%



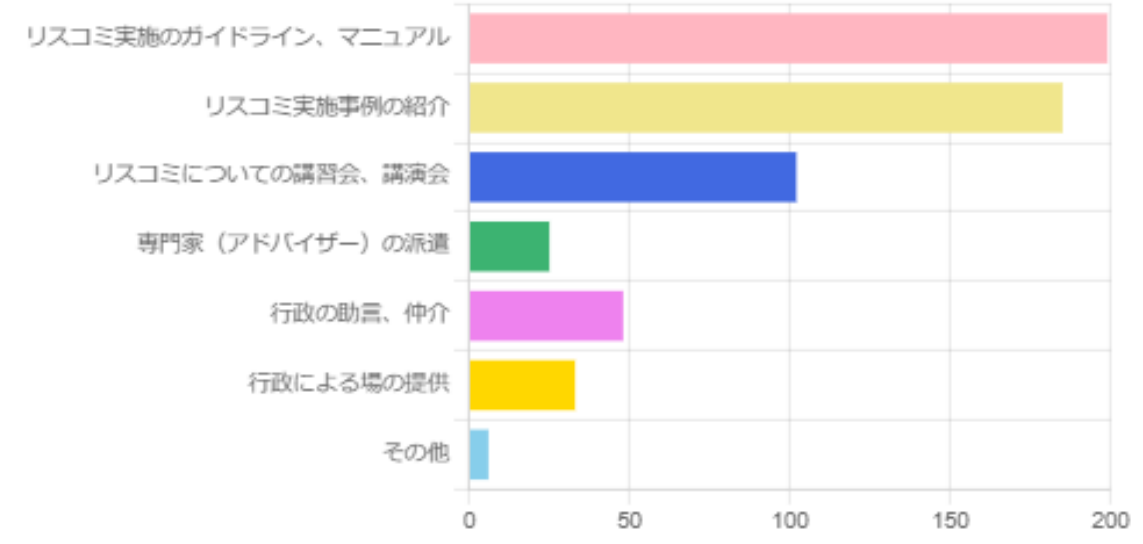
Qその他回答

- ・ 工業地域のため地域とのつながりなし。
- ・ 既に取り組んでいる。
- ・ 現状は未検討のため。
- ・ 防犯上の懸念があるため。

Q5. リスクコミュニケーションに取り組む際に、どのようなものがあれば実施しやすくなると思いますか。(複数回答可)

回答事業者数	275
--------	-----

	選択事業者数	割合(%)
1 リスコミ実施のガイドライン、マニュアル	199	72.4%
2 リスコミ実施事例の紹介	185	67.3%
3 リスコミについての講習会、講演会	102	37.1%
4 専門家(アドバイザー)の派遣	25	9.1%
5 行政の助言、仲介	48	17.5%
6 行政による場の提供	33	12.0%
7 その他	6	2.2%



Qその他回答

- ・ 取り組む判断基準を明確にしてほしい。
- ・ リスコミをしなければならないという風潮があれば。

Q6. リスクコミュニケーション等で、興味があることがあればご記入ください。

- ・ 環境について、リスクコミュニケーションの取組方法を講習会等で教えて頂けると良いと思います。
- ・ 令和8年1月に開催される化学物質リスクコミュニケーション推進セミナーに申し込み致しました。事例発表があるとの事で是非学ばせていただきます。
- ・ 自然災害への対応。
- ・ 講習会に参加して、他事業所の事例や化学物質リスクコミュニケーションについて理解を深めたい。
- ・ 近隣他社の取組内容について。
- ・ 開示範囲をどのように設定すれば良いか、明確にする手段があれば知りたい。
- ・ 他社の優良事例や失敗事例についてや、業界団体での取り組み事例など知りたいです。
- ・ 地域交流、地域密着の仕方、方法について。また、始める期会の作り方等。
- ・ 取り組み事例について知りたいです。

B to Bの企業はB to Cの対応に慣れていないため、説明会や資料の作成時の注意点など、具体的な対応の想像がしにくい。リスコミを実施している企業が、地域住民への説明会を開催をしている場などを、オンラインなどを利用した見学会として提供する機会などがあれば、未対応の企業も具体的な対応の想像がしやすいと思う。(見学会などがすでに行われてる場合、弊社は、それらの情報の入手が出来ていない状況もあると思う。)

- ・ 特にありませんが、弊社工場は工業団地内にあるために地域住民との距離もあるためリスクコミュニケーションの必要性を感じる事がありませんでした。
- ・ 会社としてリスクコミュニケーション実施のガイドラインやマニュアルが知りたいです。

地域の方々とのコミュニケーションを図りたいが、きっかけがない。また、農村地域であり企業自体が無いことから、地域の方々の興味が薄いと思われる。

- ・ いきなり開催となると、何か事故でもあったのかと疑われると思う。自社としては、ISO14001及びISO45001を取得している関係でリスクコミュニケーションは重点をおいた活動となっています。(同市の親会社で地域説明会を開催していることから自社での活動は実施していない。)

- ・ 「オンライン会議開催可能な環境が整備されている」は、社内規則により使用アプリが制限される場合有り。
- ・ リスク見積もった際の極力費用が押さえられる手法について知りたいです。

Q7. 外部とのオンライン会議等を開催することが可能な環境が整備されていますか(必須回答)。

回答事業者数	292
--------	-----

	選択事業者数	割合(%)
1 整備されている	257	88.0%
2 今後整備の予定である	7	2.4%
3 整備の予定はない	28	9.6%

